

有識者の意見概要（平成 29 年度第 2 回総合教育会議（5/30））

I 川村 高岡商工会議所会頭

- ① 高校再編の必要性については、環境が変化する中で、教育の質を高め、今の時代にあった形に切り替えていくということが、一番の原点にある。
- ② 第 4 次産業革命が進む中、ロボットや AI で出来ないコミュニケーション能力や物事の意味の理解力などを培うことが重要で、そのためにも、いろいろな人と会ったり、共同で何かをやるという経験が必要である。
- ③ また、文武両道が大切で、部活動にも挑戦し、乗り越えていこうとする中でいろいろな力が醸成されていくと思う。これらのことから、少なくとも 5 クラスは必要であり、高校再編は進めていくべきである。
- ④ 県内企業の担い手育成についても同様の力の育成が必要だが、時期から見たら高校が一番大事。ある程度規模があって、設備なども含めた専門的な学校が必要。
- ⑤ 地方創生をきちんとやっていけるかどうかは、人づくりにかかっており、教育の質を上げることが地方創生にも通じると思う。